

12月4日から10日は
人権週間

スポーツを通じた心のバリアフリー だれもが自分らしく 生きることのできる 社会をめざして

2020年に東京パラリンピックが開催されることから、障害者スポーツへの関心が高まっています。京都府は今年の4月に「京都府障害のある人もない人も共に安心していきいきと暮らしやすい社会づくり条例」を施行しました。今回、スポーツを通じ、障害のある人もない人もお互いに理解し合い、誰もが暮らしやすい社会の実現をテーマに、関係者にお話をうかがいました。

車いすに乗って気づいた
ことがきっかけに

寺田 来年はリオデジャネイロ、そして2020年にはいよいよ東京でパラリンピックが開催されますので、スポーツに対する人々の意識は高まっています。そもそも、坂野さんが障害者スポーツに取り組みむきっかけになったことから教えていただけますか。

坂野 私は小学校の教員をしていましたが、昭和63年に京都で国体があったとき、同時に障害者のスポーツ大会もありました。「車椅子バスケットボールのチームを作るんだけど、一度見てくれないか」と言われ練習を拝見したんですが、その最中に何気なく「そのパスはこっちにしないと」とつい口にしたところ、選手がとても不快な顔をされたんです。実際に私も車いすに乗ってみました。「先生、さっき、こっちにパスしろと言いましたよね。その状態で、できますか?」と。たしかに、できないんです。背中が椅子にくっついていいますから。それが私にとって大きな

衝撃でした。「よし、ちゃんと障害者のことを理解して、本気でやってみよう」と思いました。

寺田 陸上競技やゴールボール、柔道、シッティングバレーボールなど障害者スポーツの種目が多いことに私はびっくりしました。ですから自分の好きな競技から障害者のことを知る、ということも増えてくると思います。

坂野 おっしゃるとおりだと思います。まだまだ障害者スポーツとして障害者のことを知らない人が多いですね。たとえば、昔は脊髄を損傷した人がスポーツをするといったことは考えられなかったのですが、今は医学が発達し、また介助器具も性能が格段に向上しましたから、バスケットボールもできるようなりましたね。そういったことを、障害者自身もあまり知らないわけです。

寺田 障害があってもできるスポーツの幅が広がったわけですね。坂野 よく聞く話としては、車いすに乗ることになると、昔の知り合いや近所の人の前に出たくない、と。ところが、スポーツをす

北京パラリンピック男子車椅子バスケットボールチームコーチ
全国車いす駅伝競走大会京都Aチーム監督

坂野晴男氏にきく

インタビュー
エフエム京都パーソナリティ
寺田有美子さん

坂野晴男

京都市の小学校・養護学校(現 総合支援学校)・高等学校(定時制)教諭、京都市教育委員会指導主事を経て、現在、京都市教育委員会体育健康教育室参事、車椅子バスケットボールチーム(京都アップス)コーチ、全国車いす駅伝競走大会京都Aチーム監督(第1回大会)、日本車椅子バスケットボール連盟強化指導部副部長を兼務。障害者スポーツを指導。

寺田有美子

2000年に静岡エフエム放送(K-MIX)に入社、朝の番組を8年間担当。詩の朗読やライブ、イベントの司会など幅広く経験し、2010年春にフリーアナウンサーに転向。現在、α-STATION(エフエム京都)、MBS等で活動中。



北京パラリンピック競泳
100メートル平泳ぎ7位入賞

北村友里 氏

2004年アテネパラリンピック6位、2008年北京パラリンピック7位入賞。近畿身体障害者水泳連盟理事。

障害者が困っていることに 気づいてあげられる社会を

3歳から水泳を始めた私は、高校2年生の時に脳腫瘍にかかり、治療の後遺症で下半身が麻痺してしまいました。手だけでもいいからやはり泳ぎたいと練習を重ね、コーチや周りの支えのおかげで、2008年の北京パラリンピックでは100メートル平泳ぎで7位に入賞することができました。現在も競技は続けていますが、今は同じようにがんばっている、私よりも若い子たちの指導や育成に、より力を入れています。

実は私は、病気になる前の高校生の時、京都障害者スポーツ振興会でボランティア活動をしていましたので、その時から障害者がスポーツに取り組むことはどういことなのかを知っていました。実際、自分が障害者になって社会生活を送ると、今まで何気なくこなしていたことが、あらためて非常に不自由に感じることがあります。このことを、ひとりでも多くの方に知っていただきたいと思います。



寺田 「やつてみようよ」という声掛けや、社会の理解や環境整備

寺田 最後になりますが、リオ

寺田 ありがとうございます。

建物や施設とともに 求められる 心のバリアフリー

寺田 今、お困りのことや悩みな

坂野 やはり、練習環境とまわ

寺田 今、お困りのことや悩みな

寺田 最後になりますが、リオ

寺田 ありがとうございます。

私達と一緒に 2020年東京パラリンピックに!

フェンシング競技は、北京五輪で銀メダルを取った太田雄貴選手の活躍により、多くの人に知られるようになりました。しかし車いすフェンシングの競技人口はまだ20名足らず。車いすを固定する用具(ピスト)は日本に6台のみ。そのうちの5台は京都にあります。競技としての認知度は今一つです。試合は車いすに座って腕の曲げ伸ばしによる剣の操作で行いますので、障害のない人が車いすに座れば、ほぼ同じ条件で障害者と対戦ができることになります。障害のある人となない人が交流できる貴重な種目といえるでしょう。私自身、高校からフェンシングに関わり、今も車いすフェンシングの選手を実際に指導しています。現在の大きな問題は、練習場所が少ないことや、試合で車いすの取り付けなどをスピーディーに行えるボランティアスタッフが圧倒的に不足していることがあります。一緒に東京パラリンピックを目指す仲間を切望しています。



から東京へと、目標もできたと思

坂野 たえばバスケットボール

寺田 今、お困りのことや悩みな

寺田 ありがとうございます。

京都 ヒューマンフェスタ2015

～命の大切さを一緒に考えよう～

やなせたかしの遺したメッセージ
～愛・勇気・正義～
(公財) やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
事務局長 仙波美由紀さん
時間: 13:30～14:30

人権フォーラム 13:30～16:00
テーマ: 「人権の世紀」の実現に向けて
基調講演 石元清英(関西大学 社会学部教授)
パネリストディスカッション
上杉孝實(京都大学名誉教授) 石元清英(関西大学教授)
伊藤悦子(京都教育大学教授) 山本崇記(静岡大学准教授)

その他の催し物
●似顔絵コーナー(京都精華大学)
●無料ドリンクコーナー(京都府立特別支援学校)
●ユニバーサルデザイン体験コーナー(京都工芸繊維大学)
●人権相談
●犯罪被害者相談

人権に関する催し物
もりだくさん!

生命のメッセージ展 in 京都

●生命のメッセージ展 10:00～17:00
●映画「0(ゼロ)からの風」10:30～12:20
●講演 中江 美則氏 14:00～15:00

NPO共同企画

●絵本のひろば
お子様向けの絵本を多数用意しています。くつろいで絵本を読んだり、休憩したりできるコーナーです。

●フードコート
障害者施設の産産品の食品販売コーナーです。ご飯もの、パン、お菓子、飲み物などを販売します。

入場無料
会場: 京都テルサ

12月6日(日) 10:30～16:00
(開場10:00)

手話通訳・要約筆記あり

当日、先着 250名様に
「アンパンマンシール」
「じんけんめいえ」などが入った
プレゼントあり

やなせたかしシアター「ハルのふえ」

「元氣いっぱいいつかのコマキちゃん」

日時: 12月6日(日)
時間: 1回目 12:30～ 2回目 15:00～
場所: 京都テルサ テルサホール

アクセス
方法
●JR 京都駅(八条口西口)より南へ徒歩約15分
●近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分
●地下鉄九条駅4番出口より西へ徒歩約5分
●市バス九条車庫南へすぐ



主催: 京都人権啓発推進会議、京都人権啓発活動ネットワーク協議会、京都府
後援: 京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞京都総局、
日本経済新聞京都支社、NHK 京都放送局、KBS 京都、エフエム京都、京都リビング新聞社

京都府の取り組み

(秘密厳守・無料)
人権相談窓口のお知らせ

京都府では、毎日の生活の中で差別や虐待、いじめ、その他人権に関する問題について思い悩むことがある場合に、気軽に相談できる場所として、人権擁護委員会による特設相談を開設しています。

地域区分	月日	開設場所
京都市・乙訓市	12/10(木)・1/14(木)・2/18(木)	京都府庁1号館府民総合案内・相談センター(京都市上京区)
山城	12/17(木)・2/18(木) 1/21(木)	田辺総合庁舎(京田辺市田辺明田) 木津総合庁舎(木津川市木津上戸)
南丹	1/7(木) 2/4(木)	亀岡総合庁舎(亀岡市荒塚町) 園部総合庁舎(南丹市園部町小山東町)
中丹	1/7(木)・2/4(木) 2/2(火)	舞鶴総合庁舎(舞鶴市字浜) 綾部総合庁舎(綾部市川糸町)
丹後	1/5(火) 1/13(水) 12/9(水)・2/10(水)	福知山総合庁舎(福知山市篠尾新町) 峰山総合庁舎(京丹后市峰山町丹波) 宮津総合庁舎(宮津市宇吉原)

■いずれの会場も開設時間は午後1時～午後4時です。
※京都市・乙訓市会場は予約が必要です。(電話 075-414-4235)
その他の会場については予約は不要です。
京都市消費生活総合センターでも特設相談を開設しています。
12/24(木)、1/28(木)、2/25(木)
午後1時～午後4時(予約が必要)
予約電話 075-661-3755 (京都いつでもコール)

問い合わせ先
京都府府民生活部人権啓発推進室
TEL 075-414-4271 FAX 075-414-4268
MAIL jinken@pref.kyoto.lg.jp
ホームページ
http://www.pref.kyoto.jp/jinken/